

A 様：エネルギー・住宅関連会社社長
B 様：社会福祉法人施設長
C 様：主婦
D 様：主婦
E 様：公認会計士
校 長 宮下靖広
副校長 富居徹雄
教 頭 大村 慎（書記）

《学校運営》

- ・学校生活については、先生、生徒ともに満足しており、双方のコミュニケーションが良く取れて信頼関係が築けている印象を受ける
- ・アンケートを見る限り、コロナ禍で様々な制限を受ける中での高校生活でしたが、例年通り高い評価が出ています。生徒さんや保護者に寄り添う姿勢が評価されていると思います。
- ・SNS等通信機器の充実で情報過多傾向の現在、生徒の個々人の内面に潜む種々の不安や悩み、葛藤などメンタル面へのアプローチの必要性を感じています。様々な理由で家庭内では対応しきれない部分を学校生活でカバーする仕組み（スクールソーシャルワーカーなど）の充実が図れば良いと思います。
- ・これまでは様々な課題を抱えた生徒を教員が孤軍奮闘しながら対応していましたが、スクールソーシャルワーカー（保健師も含む）などの対応で、オーバーワークになりがちな教員の業務軽減につながると思います。
- ・昨年度の集計結果とくらべて、生徒から見た先生との関係が良い感じに上がっていると思いました。実業はスポーツに特化しているとみられていますが、俳句甲子園など文科系もSNSなどでよく見かけます。とてもバランスが良いと思いました。図書館の利用も増えていきますし、エアコン導入も良いと思います。
- ・諸先生方が熱意をもって教育活動に取り組んでいらっしゃると感じています。それが生徒と先生の関係の良さにつながっているのだと思います。

《教育活動》

- ・勉強と部活動の両立ができていると感じる保護者が、6割と少し低い割合だが、生徒のアンケートによると、補習などで丁寧な指導を受け理解を深めているようなので、補習を積極的に活用してもらおうと良いと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症の広がりによって様々な制限がなされ、本来の学校生活を送ることができない日々が続きましたが、その中でもクリスタルホールでのイベントは、良い思い出になったのではないのでしょうか。

- ・ 昨年のオータムコンサートでは、吹奏楽部をはじめ、太鼓部、ダンスサークルなど素晴らしい発表が繰り広げられたと聞いています。生徒の皆さんは、発表の場を確保され充実感を味わえたことでしょう。
- ・ 進学率UPも素晴らしいと思います。先生たちもたくさん頑張っていることが伝わりました。
- ・ コロナ禍でも実業高校の特色が消えないまま活動されていることがわかります。生徒、保護者ともに認識の差はなく先生方のご尽力が伺えます。

《その他》 (アンケート結果以外を含む)

- ・ アンケートの単純評価だけでは読み取れない部分を自由記述で拾い上げる必要性を感じます。
- ・ 令和5年のサッカー全国高等学校選手権北海道大会決勝戦が札幌ドームで開催が決まりました。U-18プレミアリーグも含めて旭実イレブンがピッチを駆け巡る姿を思い浮かべています。また、高校野球の秋季大会も札幌ドーム開催と楽しみが増えました。スクールカラーの「エンジ色」が活躍することを期待しています。
- ・ 地域貢献の一環でしょうか冬季間、少年野球チームに野球部の室内練習場を貸し出ししております。その訪問の際に野球部の皆さんから受ける「あいさつ」に感銘を覚えます。きちんと立ち止まり、相手の顔を見て大きな声でのあいさつに心洗われます。
- ・ これからも実業高校を陰ながら応援させていただきます。

※以上、第三者評価でいただいた意見をまとめました。

今後の教育活動に活かしていきたいと考えます。